

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】令和3年4月22日(2021.4.22)

【公開番号】特開2021-38096(P2021-38096A)

【公開日】令和3年3月11日(2021.3.11)

【年通号数】公開・登録公報2021-013

【出願番号】特願2020-194135(P2020-194135)

【国際特許分類】

B 6 5 H 3/52 (2006.01)

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 3/52 3 1 0 G

G 0 3 G 15/00 4 0 5

【手続補正書】

【提出日】令和3年1月18日(2021.1.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

シートを積層した状態で支持する支持面を有する支持部材と、

上記支持面により支持されたシートを給送方向に給送する給送部と、

上記支持面より上記給送方向下流に設けられており、上記支持面に対して傾斜し且つ上記給送部によって給送されるシートと当接して、該シートを案内する傾斜面と、

単位方向ベクトル v_1 が下記式により定義される第1方向及び、該第1方向の反対の第2方向に移動する分離部材と、

上記分離部材を、上記第1方向及び上記第2方向へ移動可能に支持する支持部と、を備え、

上記分離部材は、上記傾斜面から突出する分離片を有しており、

上記分離片は、上記給送方向において互いに離間し且つ上記給送部によって給送されるシートの先端が当接する第1当接面および第2当接面を有しており、

上記第2当接面は、上記第1当接面より上記給送方向の上流に位置し、

上記第1当接面において上記給送方向の両端部の間の上記傾斜面と直交する直交方向に沿った距離は、上記第2当接面において上記給送方向の両端部の間の上記直交方向に沿った距離よりも長い、給送装置。

式： $v_1 = a \times v_2 + b \times v_3$

ただし、 v_2 ：上記傾斜面と平行であり且つ上記給送方向下流に向かう第3方向の単位方向ベクトル、 v_3 ：上記支持面と平行であり且つ上記給送方向下流に向かう第4方向の単位方向ベクトル、 a 及び b ：0より大きく且つ1より小さい定数

【請求項2】

シートを積層した状態で支持する支持面を有する支持部材と、

上記支持面により支持されたシートを給送方向に給送する給送部と、

上記支持面より上記給送方向下流に設けられており、上記支持面に対して傾斜し且つ上記給送部によって給送されるシートと当接して、該シートを案内する傾斜面と、

単位方向ベクトル v_1 が下記式により定義される第1方向及び、該第1方向の反対の第2方向に移動可能な分離部材と、

上記分離部材を、上記第1方向及び上記第2方向へ移動可能に支持する支持部と、を備え、

上記分離部材は、上記傾斜面から突出する分離片を有しており、

上記分離片は、上記給送方向において互いに離間し且つ上記給送部によって給送されるシートの先端が当接する第1当接面および第2当接面を有しており、

上記第2当接面は、上記第1当接面より上記給送方向の上流に位置し、

上記第1当接面において上記給送方向の両端部の間の距離は、上記第2当接面において上記給送方向の両端部の間の距離よりも長い、給送装置。

式： $v_1 = a \times v_2 + b \times v_3$

ただし、 v_2 ：上記傾斜面と平行であり且つ上記給送方向下流に向かう第3方向の単位方向ベクトル、 v_3 ：上記支持面と平行であり且つ上記給送方向下流に向かう第4方向の単位方向ベクトル、 a 及び b ：0より大きく且つ1より小さい定数

【請求項3】

シートを積層した状態で支持する支持面を有する支持部材と、

上記支持面により支持されたシートを給送方向に給送する給送部と、

上記支持面より上記給送方向下流に設けられており、上記支持面に対して傾斜し且つ上記給送部によって給送されるシートと当接して、該シートを案内する傾斜面と、

単位方向ベクトル v_1 が下記式により定義される第1方向及び、該第1方向の反対の第2方向に移動可能な分離部材と、

上記分離部材を、上記第1方向及び上記第2方向へ移動可能に支持する支持部と、を備え、

上記分離部材は、上記傾斜面から突出する分離片を有しており、

上記分離片は、上記給送方向に沿って設けられ且つ上記給送部によって給送されるシートの先端が当接する複数の当接面を有しており、

上記複数の当接面において、上記給送方向に隣り合う2つの第1当接面が有する各突出端の間の距離は、上記2つの第1当接面より上記給送方向上流で隣り合う2つの第2当接面が有する突出端の間の距離よりも長い、給送装置。

式： $v_1 = a \times v_2 + b \times v_3$

ただし、 v_2 ：上記傾斜面と平行であり且つ上記給送方向下流に向かう第3方向の単位方向ベクトル、 v_3 ：上記支持面と平行であり且つ上記給送方向下流に向かう第4方向の単位方向ベクトル、 a 及び b ：0より大きく且つ1より小さい定数

【請求項4】

上記傾斜面が設けられる案内部材と、

上記案内部材に設けられており、上記支持部により支持された上記分離部材を上記第2方向に付勢する付勢部材を更に備える請求項1から3のいずれかに記載の給送装置。

【請求項5】

上記案内部材に設けられており、上記付勢部材の付勢力を調節する調節機構を更に備える請求項4に記載の給送装置。

【請求項6】

上記分離部材が樹脂成形品である請求項1から5のいずれかに記載の給送装置。

【請求項7】

請求項1から6のいずれかに記載の給送装置と、

シートに画像を記録する記録部と、を備える画像記録装置。